



六中だより

文京区立第六中学校 校長 小椋 孝

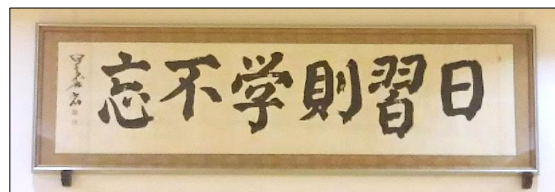
<http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/dairoku-jh/>

【教育目標】 ○責任を重んじる ○学習に励む ○健康なからだをつくる ○美しい生活を求める

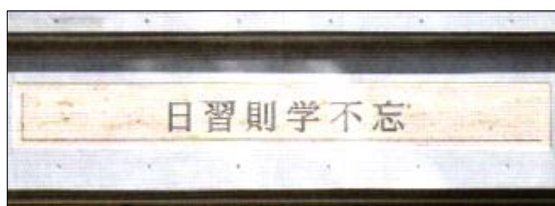
◆◆◆ 「日(ひ)に習(なら)えば則(すなわ)ち学(がく)忘(わす)れず〜」 ◆◆◆

「日習則学不忘」。この言葉は、校舎改築前の体育館に大きな額で飾られていたもので、現在は格技室にあります。この額は、創立40周年記念に際して、当時の高山昌之校長先生の友人である野村無外氏から寄贈されたもので、言葉は論語で有名な孔子（こうし）の3,000人の弟子の中でも最も優れた10人「孔門十哲」の一人である子夏（しか）の作によるものだそうです。

校舎改築の際に、この言葉を生徒の皆さんが日々目にするようにとの願いから、校庭から正門に向かう校舎のアーチ上に刻まれたそうです。生徒の皆さん一人一人が、この言葉の意味を胸に刻み、その積み重ねを将来に役立てていけるように日々の学習にいそしむことを願っています。



<格技室に飾られている額>



<校庭から正門に向かう校舎のアーチ上>

【解説】 「日習則学不忘 自勉則身不墮」

「日習則学不忘『日(ひ)に習(なら)えば則(すなわ)ち学(がく)忘(わす)れず〜』」は、毎日学習することの大切さを述べています。そしてこの言葉は、「自勉則身不墮『自(みずか)ら勉(つと)むれば則(すなわ)ち身(み)墮(お)ちず』」と続きます。すなわち、「毎日学習を続ければ学問を忘れることはなく、積極的に勉学すれば身は墮落しない」という意味です。毎日学習すれば身を慎み、人間的な成長を続け、完成することができるし、自分から進んで勉学することによって一日一日を意義あるものにすれば、不真面目な生活におちいることはないという意味です。

(平成25年10月発行「六中だより」から引用)

◆◆◆ 災害伝言ダイヤル「171」の体験利用を実施します ◆◆◆

9月2日(月)に実施した防災引き渡し訓練では、多大なるご協力をいただき、ありがとうございました。

本校では、緊急時にはフェアキャストによる連絡体制をとっていますが、災害発生時には電話がつながりにくくなったり、メールの送受信に混乱をきたしたりした例があります。そこで今回、災害時の情報伝達手段として災害伝言ダイヤル「171」の活用を想定し、体験利用が可能な機会を生かして試行してみることにしました。

災害伝言ダイヤル「171」は、地震などの災害の発生により被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。災害発生時に備えて毎月1・15日に終日体験利用ができることになっており、今回はこの機会を活用して学校からの伝言を保護者の方に聞いていただくというものです。具体的には、2ページに『【保存版】災害伝言ダイヤル「171」の基本的な操作方法』を、3ページに実施方法を掲載していますので、ご参照いただき体験利用にご協力いただけますようお願い申し上げます。

【体験利用の概略】 ※ 詳しくは、中面をご覧ください。

令和元年10月15日(火)午前10時から午後4時までの間に、災害伝言ダイヤル「171」にアクセスし、基本的な操作方法の手順にしたがって学校が録音したメッセージを再生し、確認してみてください。

◆◆◆ 【保存版】災害伝言ダイヤル「171」の基本的な操作方法 ◆◆◆

1 7 1

「171」をダイヤルする。

[ガイダンス]

こちらは災害用伝言ダイヤルセンターです。録音される方は「1」、再生される方は「2」、暗証番号を利用する録音は「3」、暗証番号を利用する再生は「4」をダイヤルしてください。

2

再生をするため「2」を選択する。

※ 録音をする際は「1」を選択します。

1

[ガイダンス]

被災地域の方はご自宅の電話番号、または、連絡を取りたい被災地域の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。被災地域以外の方は、連絡を取りたい被災地域の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

0 3 3 8 1 4 6 6 6 6

学校の電話番号をダイヤルする。
「03-3814-6666」

※ 伝言ダイヤルセンターに接続されます。

[ガイダンス]

電話番号「03-3814-6666」の伝言をお伝えします。プッシュ式の電話機をご利用の方は数字の「1」を押してください。ダイヤル式の方はそのままお待ちください。なお、電話番号が誤りの場合、もう一度おかけ直してください。

※ 録音をする際は「電話番号・・・の伝言を録音します（以下再生と同じ）」というガイダンスが流れます。

1

[プッシュ式電話] 「1」を押す。

[ダイヤル式電話] そのまま待つ。

※ 録音をする際も「再生」と同じ操作となります。

[ガイダンス]

[プッシュ式電話] 新しい伝言からお伝えします。伝言を繰り返すときは、数字の「8」を、次の伝言に移るときは、数字の「9」を押してください。

[ダイヤル式電話] 新しい伝言からお伝えします。

※ 録音をする際は「伝言をお預かりします。ピッという音の後に30秒以内でお話してください。お話が終わりましたら電話をお切りください」というガイダンスが流れます。

※ 伝言が再生されます（30秒以内なので、要点のみをお伝えすることになります）。

[伝言の再生]

[例] ○○○○年○○月○○日○○時○○分に登録された伝言をお伝えします。
こちらは第六中学校です。現在、子どもたちは校庭に避難して全員無事です。順次、引き渡しを行いますので、保護者または事前に登録された方によるお迎えをお願いいたします。

[ガイダンス]

お伝えする伝言は以上です。電話をお切りください。

ぜひご家族同士でも試してみてください！（毎月1・15日に終日体験利用が可能です。）

◆◆◆ 災害伝言ダイヤル「171」の体験利用について ◆◆◆

【体験利用の実施】令和元年10月15日（火）午前10時から午後4時までの間

【実施方法】

- ① 災害伝言ダイヤル「171」は、毎月1・15日に終日体験利用ができるシステムになっています。
- ② 今回は、この時間内に2ページの『【保存版】災害伝言ダイヤル「171」の基本的な操作方法』の手順にしたがい、ご家庭から学校の災害伝言ダイヤルに電話をかけてメッセージの再生を行ってみてください。
- ③ 録音できるメッセージ数には限りがありますので、災害伝言ダイヤル「171」の使用は、学校からのメッセージ再生のみに限らせていただきます。ご家庭からのメッセージ録音は、ご遠慮ください。
- ④ メッセージ再生には、通話料がかかる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ⑤ 当日の開始時刻前にフェアキャストにて再度のお願いをさせていただきますが、なるべく多くの方にご協力いただけますようお願い申し上げます。

◆◆◆ ボランティア部が「誠之秋季大運動会」をサポート！ ◆◆◆

9月28日（土）に六義公園運動場で誠之小学校の秋季大運動会が行われ、ボランティア部の皆さんがお手伝いに行ってくれました。

さわやかな秋晴れのもと、ボランティア部の皆さんは運動会の準備や片付けに取り組むとともに、先生方が全体の役割に取り組む中で、1・2年生のお世話を担当していました。トイレに行くときに付き添ったり、友達同士で仲良くできるように気を配ったり、保護者の方からの届け物を預かったりと、大忙しの1日でしたが、特に初めての運動会を慣れない場所で迎えた1年生にとっては、大変心強い存在となったことでしょう。西田校長先生からも「とても心強い！大変助かりました」とおほめの言葉をいただき、六中生の評判をより一層高めてくれました。



ボランティア部の皆さん
＜六義公園運動場にて＞

◆◆◆ 学習発表会に向けた取組がスタートしました ◆◆◆

9月30日（月）の生徒朝礼で、10月26日（土）に行われる学習発表会のスローガン「一意閃心 ～ 令和を彩れ 我らの熱き六中魂～」が発表されました。この言葉は、「一意専心」の「専」を「閃」に変えたもので、一つのことに心を注ぎ、集中するという意味に加え、六中生ならではの鋭いひらめきや感性を大事にしたいという願いが込められています。

当日は、ぜひ保護者、地域の皆様にもご来校いただき、日常の学習活動の成果及び合唱コンクールに向けた各学級の「協力・信頼・団結」の姿をご高覧いただければ幸甚に存じます。



■ 当日の日程（予定）

【舞台発表】

9：10～12：00

- ① 開会式
- ② 合唱コンクール
- ③ 六中コミュニティコーラス

14：20～15：10

- ① 吹奏楽部
- ② 閉会式
 - ・ 成績発表・表彰
 - ・ 3年最優秀学級合唱アンコール

【展示発表】

9：10～15：10

※ 生徒見学
12：50～14：00

◆◆◆ Welcome! 東京大学特別研究学生 マーシャルさん ◆◆◆

本校の学校関係者評価委員をお願いしている東京大学大学院教育学研究科比較教育社会学コース教授 中村 高康 先生より協力依頼があり、9月中旬より4か月程度の期間、東京大学特別研究学生のグレゴリー・ウィリアム・マーシャルさんを受け入れることになりました。

マーシャルさんは、英語という教科に対する日本の中学生の捉え方を研究目的としており、今後、英語の授業に入っていただくとともに、生徒対象の簡単なアンケートや集団インタビュー、英語科教員へのインタビューなどを予定しています。マーシャルさんは、日本でALTの経験もあり、授業に入っていただくことで、互いに大きなメリットが期待できます。大学における研究活動と並行して本校にまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



self-introduction 【自己紹介】

Hello and nice to meet you! My name is Gregory William Marshall. I'm from America, but I'm a graduate student at the University of Oslo in Norway, and a Special Research Student at the University of Tokyo.

My nick-name is "Chip". There are two reasons why my nick-name is Chip. First, my father and my grandfather are also named "Gregory William Marshall". My grandfather is called "Gregory", and my father is called "Greg". If we shortened the name anymore, I would be called "G" - and that does not sound cool. The second reason is that when I was born, my sister's favorite television show was Disney's "Chip & Dale", and she started calling me "Chip". So, my nick-name became "Chip". Feel free to call me "Chip" outside of class!

5 years ago I was an ALT in Akita prefecture. At that time, I found talking with students and learning about their lives and their hopes for the future inspiring. I think that helping people achieve their dreams is very meaningful. So, I quit my white-collar job and entered the social science of Comparative and International Education at the University of Oslo. With my past experiences in Akita prefecture, I came back to Japan in the hope of being able to help students achieve their dreams through educational research. I'm at 第六中学校 because I want to learn from the students and teachers here. So, please feel free to talk to me anytime about anything! ^_^

こんにちは。初めまして。私はグレゴリー・ウィリアム・マーシャルです。アメリカ出身です。ノルウェーのオスロ大学の大学院生で、東京大学の特別研究学生として日本に来ました。

私のニックネームは『チップ』です。理由は二つあります。一つ目は、父も祖父も、私と同じ『グレゴリー・ウィリアム・マーシャル』だからです。祖父は『グレゴリー』で、父は『グレッグ』と呼ばれています。このまま短くして呼んでいくと、私は『グ』と呼ばれることになってしまいます。変でしょう？

二つ目は、私が生まれた頃、姉がディズニーの「チップとデール」が好きだったので、私のことを『チップ』と呼んでいたからです。それで私のニックネームは『チップ』になりました。授業以外のときは、私のことを『チップ』と呼んでもいいですよ。

5年前に秋田県でALTをしていました。生徒たちと話をしたり、彼らの生活のことや将来の夢を知ったりする中で気付いたことがあります。それは生徒の夢を実現する手助けするのはとても意義のあることだということです。それで仕事を辞めて、オスロ大学の比較国際教育社会学コースに入学しました。

秋田県での経験があったので、生徒が夢を実現する手伝いができるようになるために、日本に戻ってきました。生徒のみなさんや先生方からたくさんのことを学びたくて、今、六中に来ています。どんなことでも、いつでも気軽に話しかけてください。よろしくお願い致します。

グレゴリー・ウィリアム・マーシャル “チップ”